



# 子どもたちと稚魚の放流を行いました

子どもたちが河川環境を学ぶ機会として、千曲川ロータリークラブ主催の稚魚の放流を10月19日に行いました。佐久穂町小学校の4年生86名が参加し、6000匹のヤマメを放流しました。



放流を行った場所は千曲川、佐久穂町宮前橋下流右岸です。

台風の影響で延期になっていましたが、当日は気持ちの良い晴天に恵まれました。

今回、用意してあった稚魚は、6000匹ですが、他の魚に食べられてしまったり、衰弱等でそのうちの1割ほどしか生き残ることができないそうです。

今回の放流した稚魚は「ヤマメ」という魚で、一旦海に出て、サクラマスと名前を変えて再び戻ってくるそうです。

はじめに千曲川ロータリークラブの黒岩会長や佐久建設事務所の宮原所長から挨拶があり、南佐久郡南部漁業組合の方から千曲川に棲む魚の説明を聞いた後、いよいよ稚魚の放流が始まりました。



子どもたちは、生きている魚を間近で見ても、触れることが少ないのか、恐る恐るバケツの中をのぞいていましたが、だんだん慣れてくると、

「もう一回、魚もらってくる！」

「(魚をつかんだあとに)手がぬるぬるする」

「魚を育てたい」

等と思い思いに放流していました。

きれいな川に戻ってこられるよう、ゴミ等を捨てないよう気を付けましょう！